

受付番号	1		
承認番号	大歯医倫 第 110880 号		
研究課題名	習慣性顎関節脱臼に対する Sterilized Facial Plate System® の応用		
研究責任者	山田 耕治	申請者	山田 耕治
研究終了日	平成 32 年 3 月 31 日		
所属	口腔外科学第一講座	所属	口腔外科学第一講座
職名	講師	職名	講師

申請の概要

わが国では社会の高齢化に伴い、習慣性顎関節脱臼が多く報告されるようになってきている。習慣性顎関節脱臼に対しては、外科的療法の 1 つとして、チタン製顔面骨固定用 T 字型ミニプレート（従来型ミニプレート）を用いた顎関節前方障害形成術が行われている。従来型ミニプレートは骨接合プレートであるが、他に有効な根治的療法がなく、また侵襲性が低くかつ即効性があるとの理由から、高齢者や認知症患者の習慣性顎関節脱臼に対しては、従来型ミニプレート単独使用による外科的療法が実施されている。しかし、従来型ミニプレートは強度が十分ではないため、術後にプレートの変形や破折が報告されている。

他方、株式会社ベアーメディックが開発した Sterilized Facial Plate System® (SFPS) は従来型ミニプレートと比較して約 2.5 倍の強度向上が確認されており、2015 年に顔面および上顎骨固定用として薬事承認を得て、現在、臨床応用が可能になっている。

そこで今回、我々は高齢者や認知症患者の習慣性顎関節脱臼に対して、医療行為としてこの SFPS を単独で用いた外科的療法を実施し、術後経過観察を定期的に行い、顎関節脱臼防止効果や SFPS の変形・破折の有無などを検討し、この外科的療法について評価することとした。これにより、習慣性顎関節脱臼に対するさらに有効で患者満足度の高い医療を提供することができるものと期待される。